

JA全農えひめ情報

みらいへと

2020

2 - Mar.
Feb. 3



特集

JA全農えひめ 自己改革への挑戦
《進捗状況報告》

 JA全農えひめ



▲「いい予感があたりますように」と配布



▲受験生へのメッセージも添えています

湯島天神で合格祈願 「愛媛いよかん」3,000個配布

J A全農えひめ果実課は、愛媛県が全国生産量の約9割を占める伊予柑をPRしようと、「がんばれ受験生! 『愛媛いよかん』 『いい予感』」をコンセプトに、1月11日、東京都文京区の湯島天神の境内で、合格祈願のお祓いを受けた「愛媛いよかん」を参拝者3,000人に無料配布しました。

この取り組みは、合格の縁起物として毎年実施しており、今回で35回目。受験シーズンの恒例行事になっており、合格祈願で参拝する受験生や家族に合格の縁起物として喜ばれています。

当日は、配布開始前から行列ができる中、境内に「合格まで風邪をひかずに頑張ろう。愛媛いよかん『いい予感』の天幕を掲げて、かすり姿の女性が、参拝される受験生やその家族に「いい予感が当たりますように」「縁起のよい伊予柑です」と声をかけながらお祓いを受けた伊予柑とメッセージの入った袋を手渡し、参拝者は嬉しそうに持ち帰っていました。J A全農えひめ果実課は、「愛媛いよかん『いい予感』」をキャッチフレーズに、学業や恋愛成就等の縁起物としても伊予柑の購入・消費拡大を呼びかけたいです。

めぐり〜ど

2020年2 - 3月号

CONTENTS

全農グループの経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を安心して結ぶ
懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

今月の表紙



突如、夢のブロッコリー・パークが出現！
大地からニョキニョキ、ブロッコリーの大木に登り、枝の木陰でひと休み。大きな葉っぱでかくれんぼ。おなかを空けば茎をポキリと手折ってヘルシーサラダをいただきます。やがて、ブロッコリー・ハウスやブロッコリー・タウンのある近未来が訪れるかも！なんて、とってもステキなイマジネーション！

●表紙：ブロッコリー
はら ふみ（イラストレーター）

※『めぐり〜ど』は、「愛媛農業（Agriculture）」を「リード（Lead）する」という意味と「心をつなげる（Agreed）」という意味を込めています。

農の風景Vol.214

湯島天神で合格祈願
「愛媛いよかん」3,000個配布

2

〈特集〉

JA全農えひめ 自己改革への挑戦
〈進捗状況報告〉

6

トピックス

7

イベント情報

8

ふるさと ESSAY VOL.282

道を与えてくれた
松田優作さんの遺言

梅田 剛志さん

10

TOPIC NEWS

16

READERS通信

NOW NOW COOKING

〈今月の素材〉豚バラ肉（「ふれ愛・媛ポーク」）

JA全農えひめ

ホームページ
<http://www.eh.zennoh.or.jp>



- お取り寄せ・JA全農えひめ直販ショップ
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7201/>
※愛媛の旬の農産物と加工品をお届けします！
- JA全農えひめ「えひめの食」企画
<http://www.eh.zennoh.or.jp/ehimenosyoku/>
※「えひめの食」では、旬の農産物情報を発信しています。
- ◆㈱えひめ飲料
<http://www.ehime-inryo.co.jp>
- ◆JAえひめアイパックス㈱
<http://www.iyokkora.jp/>
- ◆JAえひめフレッシュフーズ㈱
<http://fresh-ranran.jp/>
- ◆㈱ひめライス
<http://www.himerice.jp/>
- ◆JAえひめエネルギー㈱
<http://www.ja-ehimeene.co.jp>
- ◆JAえひめ物流㈱
<http://www.jat-ehime.co.jp/>

JA全農えひめ 自己改革への挑戦〈進捗状況報告〉

JA全農えひめは、第37回JA愛媛県大会で決議された「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を実現するため、「自己改革」を加速し、JAの取り組みを効果的に支援するための新たな事業モデルの構築とそれに対応する事業運営方式の見直しを図っていきます。

今回は、令和元年度の取り組みと令和元年12月末時点の進捗状況をご報告します。



肥料

取組

- 一般高度化成共同購入銘柄の取り扱い拡大に向けた担い手・法人農家への推進体制・農家事前予約体制の確立（目標：2銘柄117,500袋）。
- 肥料取り扱い銘柄の集約・整理による銘柄削減。
- 水稻基肥一発銘柄（802）への統一に向けて、未採用7JAの継続実証試験による栽培指針採用拡大（目標：新規採用2JA）。
- 果樹統一配合肥料の取り扱い条件の整備による参画JA拡大と7銘柄への統一。
- 土壌診断活動による担い手農家・部会・集団・法人等への適正施肥指導（目標：4部会・法人）。

進捗（令和元年12月末時点）

- 一般高度化成共同購入銘柄の取り扱い拡大に向け、駐在員一人当たり担い手・法人農家を2農家設定しTACと連携した訪問活動を展開している（実績：65,640袋）。
- 果樹統一配合肥料の取り組みにより、果樹用肥料は県下65銘柄から12銘柄の削減が図れた。
- 水稻基肥一発銘柄（802）への統一に向け継続試験に取り組み、令和2年度JA栽培指針に3JAの採用が決定した。その結果、県下7JAで統一された。
- 果樹統一配合肥料への参画は、1JA増加し7JAの取り組みとなり、取扱数量は132,750袋（目標対比29%）となった。しかし、7銘柄への統一には至っていない。
- 土壌診断活動による適正施肥指導は、4JA8部会で実施した。参加した部会員は、土づくりの重要性を再認識することとなった。

▼一般高度化成共同購入銘柄



▼果樹統一配合主要銘柄



農
薬

取 組

- JAと連携した推進体制の見直し・確立による担い手直送規格農薬（4～20ha用）の取り扱い拡大（目標：680ha）。
- 無人航空機（ヘリ・ドローン）等による県域防除支援体制整備と防除面積の拡大（目標：1,330ha）。
- ジェネリック農薬「ペンコゼブ」の継続した普及拡大、茎葉処理除草剤「クサクリーン」の普及拡大。
- 県域物流体制再構築に向けたマスタープランの作成（9月）・決定と受発注業務効率化に向けたWEB受発注システムの導入（3月まで）。

進 捗（令和元年12月末時点）

- 担い手直送規格農薬の拡大による資材コスト低減は、5JAで専用チラシ等による取りまとめを実施し4銘柄305ha（進捗率45%）となっている。今後、令和2年産早期水稻予約積み上げで計画達成を図る。
- 無人航空機（ヘリ・ドローン）防除面積は、1,250haと計画から▲80haとなった。
- 柑橘のスプリンクラー防除における「ペンコゼブ」普及拡大に継続して取り組んでいるものの、前年同期対比で▲40c/sとなっている。また、「クサクリーン」は、麦作における普及拡大を目的に特別推進要領を設定し取り組んだ（実績850L）。今後、春草対策として2～3月に特別推進要領を設定し普及拡大に取り組む。
- 県域物流体制再構築は、モデルJA（JAおちいまばり・JAえひめ南）を設定しコンサルタント調査に基づくマスタープラン作成を進めている。調査に時間を要したが、モデルJAへの調査結果と改善提案報告会を12月に開催した。今後、モデルJAとコンサルからの提案等を基に改善具体策検討を1月から実施し実践具体策を3月末までに作成する。
- WEB発注システムは、令和2年1月14日からJA新居浜市・JA愛媛たいき・JAひがしうわ、令和2年2月3日からJA西条・JAおちいまばり・JAえひめ南で運用を開始する。

農
機

取 組

- 本県が設定する現行の低コストモデル（目標：JAグループ重点型式65台、独自型式45台）を継続推進。
- 次期共同購入トラクター（28～35馬力）の事前推進。
- 格納点検による機械の延命化（目標：2JA）。
- 中古農機の流通促進。
- さといも機械化一貫体系の確立。

進 捗（令和元年12月末時点）

- 低コストモデル出荷実績は、重点型式41台（トラクター17台、田植機16台、コンバイン8台）計画比63%。JA独自型式33台（バッテリー動噴32台、刈払機1台）計画比73%。
- 次期共同購入トラクターは、事前申込み目標220件に向け見込農家を抽出し推進中。
- 機械の延命化に向けた計画的な格納点検は、JAおちいまばりで実施中。また、実施に向けJAうまと協議中。
- 中古農機の流通促進を図るため、M-WEBへの中古情報登録目標を100台におき現在91台登録し44台成約。
- さといも機械化一貫体系確立に向け、簡易型分離機の実演を実施するとともに、JAうまでは掘り取り後の収穫機（ピッカー）の実証作業に取り組み導入に向けた検証を行った。また、JAおちいまばりにおいては、掘り取り収穫機（ポテカルゴ）を導入した。令和2年2月にJAうまで種芋植え付け機の実演を予定している。

取組

- パレット輸送に対応した箱規格見直し及び積載効率向上による物流コスト低減に向けた協議・検討。
- 適正包装化によるコスト削減をめざして、ショートフラップ化についてサンプル提示を提案。

進捗(令和元年12月末時点)

- 物流コスト低減は、産地・市場における箱規格ニーズ等もありパレット輸送に対応した協議が進んでいない。
- 箱形状見直しによるコスト低減は、JAひがしうわ「南瓜段ボール」のショートフラップ化(天フラップ4mmカット)に取り組み10月から導入済み。また、JAえひめ中央城南「なす段ボール」のショートフラップ化(天フラップ2mmカット)に取り組み、次年度から切り替え予定。

取組

- 事前契約数量の拡大
令和元年産目標：5,600t(主食用米4,230t、多収穫米420t、酒造好適米950t)
- 米集荷量の拡大 米集荷目標：主食用米14,000t
- フレコン集荷取り組みJA目標：8JA
- TAC、関連部署との連携による集荷推進 大口50戸訪問
- 令和元年産面積目標：主食用14,349ha、水田活用米穀540ha、麦類2,050ha、大豆350ha
- 業務用多収性品種「あきだわら」を中心とした作付拡大 9JA・70ha
- 新品種「ひめの凜」の本会一元集荷・販売体制の構築
- 麦の反収向上 はだか麦目標：反収360kg

進捗(令和元年12月末時点)

- 事前契約の締結
元年産4,557t(主食用米3,330t、多収穫米420t、酒米600t、新品種ひめの凜207t)
- 米集荷量：天候不順による作況94および他業者との競合・JA直売の増加により主食用米7,758t。
- フレコン集荷：7JA
- 大口農家・法人訪問40件(多収穫米の新規作付2件)
- 元年産面積：主食用13,500ha、水田活用米穀467ha、麦類2,014ha、大豆309ha
- 業務用多収性品種「あきだわら」を中心に6品種の作付7JA72.2ha(前年+26.2ha)。
- 新品種「ひめの凜」64ha作付し、208.5t集荷。販売についてはひめライスへ全量販売。CM・新聞広告等、PR活動を行い12月末をもって完売。
- はだか麦の単収375kg。天候に恵まれたことと基本技術の徹底により目標達成(目標対比104%・前年対比144%)。



園芸

取組

- 果実は、JA・パートナー市場10社と連携し、実需者を明確にした予約相対取引の推進（計画12,100百万円）、企画販売推進による買取販売の強化（計画450百万円）。
- 温州みかん・伊予柑の販売量を確保するため、生産基盤強化に向けたモデル園地化の設定及び実施（温州みかん3園地、中晩柑3園地）。
- 野菜は、重点7品目の作付拡大支援を中心とした生産振興支援対策を実施（拡大支援：479a）。
- 既存集出荷場の重点化推進によるロットの拡大・省力化体系をすすめ、生産規模および取扱数量の拡大を図る。
- パートナー市場との連携による企画・買取販売の拡充をはかる（計画426百万円）。

進捗（令和元年12月末時点）

- 果実予約相対取引実績11,027百万円（計画比91%）。
- 果実企画販売実績175百万円（計画比67%）。新規の取引先も増えたが、既存企画の取扱い数量減少に伴い計画未達となった。
- 生産基盤強化を図るため、温州みかんはJAにしうわにおいて3園地、中晩柑はJAえひめ中央において3園地のモデル園地設定を実施。
- 野菜重点品目への苗代助成等の生産振興支援対策により、551a新規作付拡大となった。
- JAえひめ南のきゅうりをJAひがしうわ野村選果場へ持ち込み、共同選果を実施した（7/10～8/25：20t）。
- 野菜企画販売実績184百万円（計画比59%）。一部、通常販売にしたことから計画未達。

輸出

取組

〈園芸〉

- 愛媛県産柑橘について、県行政・日園連と連携し、温室みかん、中晩柑（紅まどんな・甘平、せとか）、落葉果樹（柿）の輸出に取り組む（計画12,100千円）。

〈畜産〉

- 県行政、本所、JA全農インターナショナル(株)等と連携する中、新たな仕組みを構築し、愛媛県産和牛・愛媛県産豚肉の海外輸出実施に向け取り組む。

進捗（令和元年12月末時点）

〈園芸〉

- 県行政と連携し輸出に取り組んだ。輸出実績：台湾向け温室みかん3.0t、3,817千円。香港向け温室みかん0.3t、390千円。
- 日園連と連携し輸出に取り組んだ。輸出実績：カナダ向け紅まどんな0.3t、346千円。

〈畜産〉

- 愛媛県産和牛（愛媛あかね和牛）：県行政、JA全農ミートフーズ(株)、JA全農インターナショナル(株)等と連携して取り組み、10月に1頭（フルセット）を台湾へ輸出し、現地店頭にて宣伝活動を実施した（令和2年1月、更に1頭輸出予定）。
- 愛媛県産豚肉（「ふれ愛・媛ポーク」）：JAえひめアイパックス(株)、JA全農ミートフーズ(株)、JA全農インターナショナル(株)等と連携して取り組み、9月に2頭分（ロース、肩ロース、バラ）を香港へ輸出し、現地展示会にて商談を実施した。

令和元年度出向く女性TAC・営農職員研修会 「女子力」活かした営農活動を！



スイーツづくりに挑戦



J A岡山 荒木さん



J A愛媛たいき 西山さん



班ごとにグループワーク

J A全農えひめ営農支援課は、1月30日、松山市内で、J A女性TAC・営農職員の交流を深め女性目線での営農活動を強化しようと、「令和元年度出向く女性TAC・営農職員研修会」を開きました。

同研修会は、毎年実施しており、今回で5回目。県内5 J AやJ A岡山の女性TAC・営農指導員など17人が参加しました。

最初に、食農教育の実践編としてJ A愛媛たいき販売精算課の西山美樹さんの指導で、同J A産のいちごを使用したスイーツ「いちごのレアチーズケーキ」を班ごとに作りました。火を使わない簡単レシピに、参加者からは「ぜひ自宅でも作ってみたい」と好評。班のメンバーで協力しながら調理し、交流を深めることができました。

研修会では、J A岡山備南営農センターの荒木恵美さんと、スイーツ作りの指導も行った西山さんによる講演が行われました。

J A岡山の荒木さんは「女性営農職員に向けて私が思うこと」と題して、担当している「千両なす」や「花卉」を中心に営農指導や生産者対応などを踏まえ「女性だからできたこと」「指導員として心がけていること」などを紹介しま

TACとは??

「TとことんAあってCコミュニケーション」を合言葉に、地域農業の担い手に向くJ A担当者です。

みんなで作った
いちごのレアチーズケーキ



した。J A愛媛たいきの西山さんは「J Aだからできる！ 食農教育の可能性」と題して、同J Aと大洲市内の小学校が連携し、子供たちにいちごなど青果物の販売体験を通じて消費者・生産者・販売者の異なる視点を学ぶ食育の取り組みについて報告しました。

講演後のグループワークでは、女性TAC・営農職員として、日ごろ感じている悩み・課題、今後、自分ができることや挑戦したいことなどを共有しました。悩みや課題では、「家庭との両立」や「力作業に苦勞する」など女性ならではのエピソードも。参加者からは「同じ立場の女性職員と情報交換ができ、業務に対して前向きな気持ちになれた」といった声が上がりました。



《イベント情報》
**参加者
募集!**

(小学生と保護者対象)

お申込み
3月13日(金)
まで

J A 全農 えひめ 親子料理教室

～おべんとうをつくろう～

日時 3月28日(土)

午前の部 / 10:00 ~ 12:30
午後の部 / 13:30 ~ 16:00

定員 各回 親子15人30組

小学生(新1年生を含む)お1人と保護者お1人
のお2人でお申し込みください。
※お2人以外のご家族などの同伴はできません。

参加費 お1人 500円

会場 愛媛新聞・フジカルチャースクール
フジグラン松山教室
(松山市宮西一丁目6-10 本部第3ビル4階)

持ってくるもの エプロン、三角巾、お箸、ハンドタオル、筆記用具
※おべんとう箱は参加者全員分をご用意いたします。

お申込み 参加希望時間・親子お2人の氏名・年齢・郵便番号・住所・電話番号を明記して、はがきかFAX、Eメールで下記まで。締切は3月13日(金)必着(メールの場合は同日17時まで)。応募者多数の場合は抽選で、結果は3月17日頃までに郵便で通知します。
※応募者の個人情報はいイベントの運営のみに使用いたします。
●食物アレルギーをお持ちの方へ…今回のレシピではアレルギー物質を含む食材(卵、乳、落花生など)を使用しますのでご注意ください。

宛先 〒790-0067 松山市大手町1-11-1 ウィークリーえひめリック 「親子料理教室」係まで
FAX: 089-935-6982 メール: RIQ@enp-sc.jp

お問い合わせ ウィークリーえひめリック TEL: 089-932-8333



なかむら かずのり
中村 和憲 先生

料理研究家の中村和憲さんと一緒に
食材の栄養や旬について学びながら、
親子でおべんとう作りにチャレンジ!
愛媛県産や旬の食材をつかったおうち
でも作れるレシピです。
最後はみんなでいただきます♪

ふるさと ESSAY

Vol.282



道を与えてくれた 松田優作さんの遺言

こんにちは。ラジオパーソナリティの梅田剛志です。3回執筆させて頂き、この号がラストとなります。

最後に私の「志」についてのお話をさせて頂きます。この話をする時にまず、私が生きていく上で背骨となっている、ある言葉を紹介しなくてはなりません。

それは松田優作さんの遺言です。優作さんが亡くなられたのは1989年（平成元年）11月。私が6歳の時。優作さんの遺作は初のハリウッド進出となった「ブラックレイン」だと思われる方も多いかもしれませんが、実はブラックレインの撮影が終わった後、日本に戻って、あるテレビドラマに出演されています。そのTVドラマは「華麗なる追跡 THE CHASER」。最後の共演者となったのは当時23歳だった香川照之さんでした。そんな香川さんに優作さんはある遺言を残しました。あれだ

け激情的な生き方をされた大俳優。遺された言葉は、私の理解が及ばない所にあると思っていました。その言葉は意外にもシンプルでした。

「何でもいいから毎日同じ事を1つやれ」
その言葉は今までの人生で何1つ長続きしなかった私を変えてくれた言葉になりました。この言葉を受け取ってから、私は毎日トイレ掃除と靴磨きをするようにしました。日々使う物で、その都度きれいだったら気持ちいいだろうなあという単純な気持ちから始めましたが、実際に続けてみるとまあ、大変！ 朝起きてしんどい時にトイレ掃除をするのは本当に面倒だし、疲れて帰った時にする靴磨きはだるくて仕方ありませんでした。もう辞めようかなと思ったとき、続ける為に何ができるかを考えました。そこから朝、トイレ掃除が気持ちよくできるように早く寝るようになったり、靴磨きも帰ってすぐ

梅田 剛志

TSUYOSHI UMEDA

■プロフィール■

ラジオパーソナリティ、司会者、イベントMC。
1983（昭和58）年7月14日、熊本県美里町出身。大阪芸術大学放送学部卒業後、東京を中心に活動。現在は松山市に居を構える36歳、血液型はA型。

小さい頃より出身地・美里町の日本一長い3,333段の石段で足腰を鍛え、剣道、伝統派空手、フルコンタクト空手、総合格闘技を嗜む。格闘漫画が大好きで、男臭さやキャラクターの熱い思いを代弁する自称「格闘漫画ソムリエ」。野球では松井秀喜選手の取材経験を持つ巨人の大ファン。日本唐揚協会認定カラゲニスト、温泉ソムリエ、TVゲーム大会受賞など、趣味・特技は広範囲にわたり、その興味のベクトルがパーソナリティ業に存分に発揮されている。

2019年4月より、FM愛媛「Groovy Radio Caravan」（月～金曜13：30～16：55）、月・火・金曜担当。番組内「J A全農えひめ presents Support Music」コーナー（毎週月曜14：10頃～5分間）では、人生で支えられた1曲とそのエピソードを募集し、採用者に県産農畜産物をプレゼントしている。

※メッセージ送付先 E-mail：grc@joefm.com
※ツイッターでは「#grc797」で番組情報を紹介。メッセージやリクエスト曲をつぶやくと生放送中に紹介されるかも！



▲FM愛媛「Groovy Radio Caravan」月曜日のパートナー、塩出怜さんと

ではなく、お風呂に入って一息ついてからやるなど、続けるための工夫がどんどん産まれてきました。そうして続けていくと「もっと綺麗に磨きたい」という欲求が出てきて、道具を見に行ったり、プロの方が磨いている動画を見て勉強するなど、自発的に学ぶようになっていく自分がありました。実際の仕事でも整理整頓が癖になり、仕事の効率化や生産性の向上に繋がりが、任せてもらえる仕事も少しずつ大きくなって行きました。そうして丸3年が経ったころ、FM愛媛でラジオパーソナリティにな

りたいという夢を叶えることができました。松田優作さんの遺言は「シンプルな行動こそが人生に大きな影響を及ぼし、些細なことをしっかりと積み重ねていけば大きなことを成し遂げることに繋がると私に教えてくれました。今の私には、ある「志」があります。それは人の可能性を発信し、新しい産業、サービス、商品、雇用を創出し、この世界に住む人の心を豊かにすることです。そして、そこで産まれたエネルギーを次世代に紡いでいく。それが使



命であるように感じております。私の名前の「剛志」には「志」という漢字が付いています。「剛・つよい」「志・こころざし」を持ってその使命に取り組んで行きます。

そんな私が現在担当しているFM愛媛のお昼の番組「Groovy Radio Caravan」。エミフルMASAKI内のFM愛媛のスタジオ「エミスタ」から生放送で月々金曜日にお届けしています。2019年4月にスタートして、まもなく1年。午後の時間ラジオから流れる音楽とトークを楽しんでください。

3回にわたり読んで頂いて本当にありがとうございます。皆さん、何でもいいので毎日同じことを1つ続けてみてください。朝起きてベッドを綺麗にするとか、先に自分から挨拶するとか、小さな事でOKです。続けていくことがしんどくなったら、続ける為に少しの工夫を取り入れてみてください。そうして進んでいくと、気付いたときには想像もしなかったような大きな場所に辿り着いているかもしれません！ 私にもできたので、皆さんにもできると思いますが！

またラジオでお会いしましょう、押忍！

第42回えひめみかん祭り

県内各地の柑橘30種類以上を一堂に集め愛媛産柑橘の魅力をもPR!

愛媛県果樹同志会、愛媛県 J A 全農えひめなどは、1月18日と19日の2日間、松山市のいよてつ高島屋8階特設会場で、「第42回えひめみかん祭り」を開きました。みかん祭りは、柑橘の品種30種類以上を展示・販売する「柑橘王国愛媛」ならではのイベントで、愛媛産柑橘のPR・消費拡大と果樹農業の振興を図ろうと毎年開催しています。

会場では、「来て・見て・食べて！愛媛みかんオールスター」をテーマに、「果実コンクール」出品果

実の展示販売をはじめ、伊予柑・ポンカン・せとか・甘平・紅まどんななど数多くの柑橘、加工品の試食販売を実施。来場者は品種の食べ比べを楽しんで、好みの柑橘を購入していました。

そのほか、新品种の紹介、「ほ場コンクール」優秀園地のパネル展示、ポンジュース蛇口、みかん風味ポップコーンの配布、ステーションではみかん早むき大会やみかんを丸ごと使った「みかん餅つき」などを実施。愛媛柑橘の美味しさと魅力をもPRしました。



食べ比べしながら柑橘を買い求める来場者



みかんの早むき大会



ポンジュース蛇口



みかん餅つき

第42回えひめみかん祭り果実・ほ場コンクール

農林水産大臣賞に玉井真吾さん(果実)と前田正之さん(ほ場)

愛媛産柑橘の品質向上と果樹農家の生産意欲の高揚に向けて「第42回えひめみかん祭り」果実・ほ場コンクールの結果が、1月18日、「えひめみかん祭り」会場で発表され、農林水産大臣賞(優秀賞)には果実コンクールが玉井真吾さん(JAにしうわ)の「宮内伊予柑」、ほ場コンクールでは前田正之さん(JAえひめ中央)の「愛媛果試第28号(施設)」の園地が選ばれました。

コンクール入賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内は品種名・JA名)。表彰式は、3月26日開催の愛媛県果樹同志会大会で行われます。

【果実コンクール】

▽優等賞Ⅱ濱本紘雄(久能温州・えひめ中央)、古茂田修(愛媛果試第28号・同)、吉井栄信(甘平・おちいまばり)、石田英久(せとか・えひめ中央)、野本潤也(不知火・同)、滝本則男(はれひめ・おちいまばり)、武田孝司(太田ポンカン・えひめ中央)、上松正人(はるみ・同)▽優良賞Ⅱ久重儀之(南柑20号・にしうわ)、片岡星也(吉田ポンカン・ひがしうわ)、池内良雄(甘平・えひめ中央)、玉井末承(愛媛果試第28号・同)、松

永進(せとか・同)、森和範(宮内いよかん・同)、田中徹(南柑20号・同)、宮本和也(今津ポンカン・えひめ南)、能田英文(不知火・えひめ中央)、忽那敬一(甘平・同)、古田俊正(せとか・同)、大野陽一(宮内伊予柑・同)、西山聡(青島温州・同)、砂川恵(レモン・おちいまばり)、青井幹夫(不知火・えひめ中央)、森田正(宮内伊予柑・おちいまばり)、吉岡勝利(久能温州・えひめ中央)、稲田壘(河内晩柑・えひめ南)、一色昭寛(宮内伊予柑・えひめ中央)、菅憲二(甘平・おちいまばり)、菊池加偉(タロッコ・にしうわ)

【ほ場コンクール】

▽優等賞Ⅱ門野誠司(宮川早生・えひめ中央)、繁森大作(南柑20号・えひめ南)▽優良賞Ⅱ川端繁式(せとか(施設)・えひめ中央)、畑中伸通(愛媛果試第28号(施設)・同)



農林水産大臣賞を受賞した玉井さんの「宮内伊予柑」

◎「甘平」選果目合わせ会

「甘平」ブランド確立に向けて厳選出荷を徹底

愛媛オリジナル品種「甘平」の出荷を前に、J A全農えひめは、1月8日、J Aにしよう旧本店で「甘平選果目合わせ会」を開きました。

目合わせ会は、消費者・販売先の期待に応えるため、品質の向上と品格の統一をめざし、今年で8回目です。J Aの生産販売・選果担当者や愛媛県、市場から50人が出席し、J A全農えひめの担当者が、サンプル果実を見せながら選別・出荷基準を説明し確認。品格・価格に見合った商品を出荷するよう説明しました。

「甘平」は、愛媛県が平成19年に品種登録した、爽やかなシャキとした食感と甘さが魅力の品種。平成30年産は277 haで1、527 t生産され、市場平均kg単価は684円でした。

市場関係者は、「消費者に求められる品質・品格のある果実を出荷してほしい」と呼びかけました。令和元年産は、面積が前年比104%の289 ha、生産量は前



J A全農えひめ担当者（左）が果実との比較で基準を説明

年比125%の1、908 tを見込んでいます（令和元年12月時点・J A関係）。生育は順調で、糖高酸低で食べやすい食味となっています。

J A全農えひめ果実課は「今年の果実品質は良好で美味しく仕上がっている。厳選出荷に努め高級柑橘としてアピールしていきたい」と話していました。

◎令和元年度「愛媛県くり品評会」表彰式

農林水産大臣賞の増岡英明さん、和田清光さんらを表彰

愛媛県くり研究同志会（大野奉孝会長、会員数1、525人）とJ A全農えひめは、12月3日松山市で令和元年度「愛媛県くり品評会表彰式」を開き、農林水産大臣賞の立木部門の増岡英明さん（J A愛媛たいき）、果実部門の和田清光さん（J Aえひめ中央）をはじめ受賞者を表彰しました。

立木部門で農林水産大臣賞を受賞した増岡さんの園地は、緩傾斜園で樹齢は8年生。整枝剪定に高い技術力があり、1樹1樹剪定が徹底され、樹冠内部まで日光が差し込んでおり、園内道が設置され作業性も考慮されています。結実は良好で、樹によるバラツキも少ない。施肥は年3回、防除は年4回実施しており、基本管理の徹底がなされていることなどが高く評価されました。

果実部門で大臣賞を受賞した和田さんの出品した「紫峰」は、特に果形、玉揃い、果皮の色つやも良く品種系統の特性を備えた風格のある果実として評価されました。



農林水産大臣賞を受賞した増岡さん（左）と和田さん（右）

なお、J A全農えひめ扱いの令和元年産栗の市場販売実績は265 t（前年比150%）、平均kg単価は849円（同90%）。昨年（平成31年産）は様々な気象要因より過去にない大不作となりましたが、本年（令和元年産）は、着稔は全体的に平年よりやや多めとなり、販売実績は昨年を大きく上回りました。※入賞者は12月号のトピックニュースで紹介しています。

令和元年度愛媛県総合畜産共進会「肉牛・肉豚の部」「交雑種・乳用種の部」

農林水産大臣賞に堀内博さんと(有)菊間仙高牧場

大洲市のJAえひめアイパックス(株)本社工場で、12月7日、令和元年度愛媛県総合畜産共進会の「肉牛・肉豚の部」、「交雑種・乳用種の部」の審査・表彰式が行われました(主催:県畜産協会)。

肉牛の部(黒毛和種)は35頭、交雑種・乳用種の部は11頭が出品されました。農林水産大臣賞(優等賞首席)は、肉牛(黒毛和種)の



菊間仙高牧場の森田社長(左)と堀内さん(右)

部で堀内博さん(JAひがしうわ)、肉豚の部で(有)菊間仙高牧場(JAおちいまばり)が選ばれました。

購買者31社が参加してJA全農えひめ主催の肉牛のセリを実施。1kg単価は堀内さんの出品牛が最高で、4,740円(購買者||株)篠崎畜産精肉直売店)。黒毛和種の平均単価は2,796円と高値で取引されました。

なお、共進会では、県畜産功勞知事表彰として、本宮環さんから3人が表彰されました。

その他の受賞者は次の皆さん(敬称略・カッコ内はJA名)。

【肉牛の部】◆優等賞▽次席||土居利行(ひがしうわ)▽3席||山下祥雄(えひめ中央)▽4席||秦裕人(ひがしうわ)▽5席||井上秀一(ひがしうわ)◆1等賞▽首席||池田一成(えひめ南)▽次席||山岡造(愛媛たいき)▽3席||JA愛媛たいき畜産センター(愛

媛たいき)▽4席||門田政男(おちいまばり)▽5席||関平畜産(ひがしうわ)

【肉豚の部】◆優等賞次席||株多田ファーム(愛媛たいき)

【交雑種・乳用種の部】◆優等賞||堀内博(ひがしうわ)

【愛媛県畜産功勞知事表彰】(カッコ内は市町)▽本宮環(今治市)、▽山本英司(大洲市)、▽松本和夫(西予市)



社会福祉協会贈呈式

県内15の児童福祉施設に、もち米とジュースを提供

JA全農えひめは12月10日、愛媛県社会福祉協議会を通じて県内15の児童福祉施設に、「ひめライス」のもち米650kgと「POM愛媛はれひめ」「POMアシタノカラダみかんジュース」などジュース95ケースを贈りました。

松山市のJA愛媛で行った贈呈式では、JA全農えひめの小越慎介県本部長が同協議会の杉野洋介常務理事に目録を手渡し、同協議会からJA全農えひめに感謝状が贈られました。

JA全農えひめは、社会貢献活動の一環として、県内児童福祉施設の子どもたちが明るいお正月を迎えられるように昭和59年から毎年実施しており、今回で36回目です。



小越県本部長(左)と杉野常務(右)

2019 JA愛媛農機ビッグフェア

JA農機の総合展示会に1,339人が来場！

県内JAとJA全農えひめ農機課は、12月6日・7日の2日間、松山市のアイテムえひめで、県内統一の農機総合展示会「2019 JA愛媛農機ビッグフェア」を開催しました。

フェアは、農機の計画的・効率的な適正導入の促進と安全使用の啓発、効率生産に役立つ作業体系の提案や省力機械の普及促進、新製品の説明・研修などを目的に毎年開催しており、今年で29回目です。

今回は「時代とともにさらなる進化を！令和につなぐJA農機」をテーマに、大型農機から小物資材までメーカー20社が参加。大規模効率生産に対応できる高性能機械・省力機械、野菜作関連機械、新製品や小物特価品等を多数展示しました。

JA全農えひめコーナーでは、JAうまと共同実証を行った里芋分離作業の実証結果や機械のセルフメンテナンス情報等の展示を行いました。また、農業用ドローン

の講習会を行い、多数の参加を得ました。

その他に安全使用、農業資金・リース相談等も設置し、農機・農業に関する情報を幅広く発信しました。

期間中は、県内JAから1,339人が来場し、最新農機の展示・説明などを通じて性能や特徴などを確認していました。



大勢の人が賑わう展示会場

ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場

七草がゆ配布 無病息災を願う

JA全農えひめが東温市で運営する農産物直売所とコンビニの一体型店舗「ファミリーマート・全農ふれっしゅ広場」は、7日、出荷会員が県内産の七草を使って作った「七草がゆ」を来店客に振る舞いました。

この取り組みは、同店産直コーナーの出荷会員「フレッシュ市部会」が、地域の消費者との交流イベントとして、毎年取り組んでいます。

当日は、出荷会員が早朝から大鍋で七草がゆ約200人分を作り、来店客に「七草がゆで無病息

災を」などと呼びかけながら無料で七草がゆを手渡しました。食べた方は、「家で作ったものより美味しい」「毎年食べています」などと笑顔を見せていました。

同店は、平成28年4月、JA全農えひめが運営する農産物直売所とコンビニエンスストア・ファミリーマートの全国初の一体型店舗としてオープンしました。

「フレッシュ市部会」の束村雅則会長は「七草がゆを食べて正月に疲れた胃袋を回復し、元気に店舗を利用してもらいたい」と話していました。



大鍋で七草がゆを作る生産者



屋外の特設ブースは大勢の来店客で大賑わい

「紅まどんな」県内店頭試食宣伝活動 愛媛みかん大使が店頭で 「紅まどんな」をPR



店頭で試食宣伝する愛媛みかん大使

12月1日・8日に愛媛みかん大使がイオン松山、イオン新居浜、エミフルMASAKI、フジグラン松山で、出荷最盛期を迎えた愛媛オリジナル品種「紅まどんな」の店頭試食宣伝活動を行いました。

愛媛みかん大使は、来店客に試食を勧めながら「美味しい紅まどんなをお歳暮にどうぞ」などと購入を呼びかけました。試食したお客様の反応も「甘くて美味しい」と好評で、家庭用や県外への贈答用として買い求める方などで賑わいました。

J A全農えひめ果実課は、県内外で「紅まどんな」の店頭試食宣伝を積極的に行い、ブランドの認知度向上と販売促進に取り組みました。

令和元年度第2回TAC管理者会議 TAC活動の強化に向けて 情報交換

J A全農えひめ営農支援課は、TAC活動の充実・ステップアップに向けて12月12日、松山市のえひめ共済会館で「令和元年度第2回TAC管理者会議」を開きました。会議にはJ AのTAC管理者など約20人が参加しました。

TAC活動の全国情勢や県内担い手支援の活動状況の共有とともに令和2年度の担い手支援要領の考え方を協議しました。また各部門からの情報提供のほか、出向く活動強化に向け各J Aの取り組み状況をグループ内で共有し、課題解決に向けたグループディスカッションを行いました。



グループ内で課題を話し合う参加者

令和元年度ひめの凍食味コンテスト 愛媛の新しいお米 「ひめの凜」美味しさ競う



受賞者の皆さんと関係者

愛媛県と愛媛県米麦振興協会は、12月13日、松山市のJ A愛媛で「令和元年度食味コンテスト」を開催しました。

「ひめの凜」は、令和元年秋季にデビューした愛媛の新しいお米。コンテストは今回が初開催です。最優秀賞には、西予市の中野聡さん、優秀賞にはJ A愛媛たいきの徳山護さん、池田幸二さんなどが選ばれました。

表彰式後は、生産者や関係者約70人を集めて、「令和2年度ひめの凍認定栽培者募集説明会」が行われました。

オートパル松山 リニューアルオープン周年を 記念して「お客様感謝デー」を開催

砥部町にあるJ Aえひめエネルギー(株)オートパル松山は、12月7日～8日の2日間、リニューアルオープン1周年を記念して「お客様感謝デー」を開催しました。

期間中は、新車・中古車ご成約のお客様には、一万円分のJ Aガソリンカードをプレゼントしたほか、多肉植物の寄せ植えワークショップや好きな文字や絵を描ける「らくがきカー」などを家族で楽しめる多彩なイベントを実施し、賑わいました。

同店舗は、平成30年11月、よりお客様に寄り添った来店しやすい店舗を目指し、店舗新築をいたしました。ぜひ皆さんもご来店ください。



砥部町拾町にあるオートパル松山

📷 ㈱えひめ飲料

14,967通の中から当選者500人選ぶ

㈱えひめ飲料は、11月26日、松山市安城寺町の本社で、オリジナルカード（500円分）&愛媛みかん（5キロ）が当たる「おかげさまでポンジュース50thキャンペーン」これまでも、これからも「のキャンペーン抽選会を行い、山本卓治社長らが、14,967通の応募ハガキの中から当選者500人を選びました。

同キャンペーンは、1969年、飲料メーカーに先駆けて「天然果汁100%ジュース」として発売以来ロングセラーを続ける「ポンジュース」の50周年を記念し、9月16日から11月15日まで実施しました。

北海道から沖縄まで全国から応募があり、㈱えひめ飲料では「50周年を迎えられたことや、日頃のご愛顧に感謝し、次の50年に向けて、ポンジュースのファン拡大につなげたい」と意気込みます。

応募ハガキには、「三世代で飲んでいきます」「毎朝飲んでいきます」などの声が寄せられました。



山本社長（中央）らが当選者選ぶ

📷 ㈱えひめ飲料

平成30年7月豪雨に係る義援金を進呈



山本社長（左）と神野副知事（右）

㈱えひめ飲料は12月23日、愛媛県庁にて県に平成30年7月豪雨災害に係る義援金130万円を贈りました。

今回の義援金贈呈は、ポンジュース生誕50周年の記念事業の一環として実施。9月16日から11月15日まで実施したキャンペーン期間中の「ポンジュース800ミリリットルペットボトル」の売り上げの一部を贈呈しました。

㈱えひめ飲料の山本卓治社長は「50年支えてくれた柑橘農家の皆さんへ恩返しができたら」と神野一仁副知事に目録を手渡しました。神野副知事から「県民にとって縁の深い企業からの支援は、産地の力になる。これからも被災地に寄り添いながら、復興に取り組みでいきたい」とお礼の言葉がありました。

📷 松山城正月イベント

愛媛ならではの…
ポンジュースで鏡開き！

1月1日、松山城で、お酒の代わりに愛媛を代表する「ポンジュース」を使った鏡開きが行われ、家族連れなど一般客約300人にジュースが振る舞われました。

この催しは、同城の指定管理者である伊予鉄道(株)が、元旦に愛媛県を代表する観光地の松山城で、クルマで来ている方や未成年者も含めて、愛媛を代表するジュースでもてなそうと2009年から毎年開いており、㈱えひめ飲料がジュースを提供しています。

本丸広場一ノ門前では新年を祝う太鼓が披露された後、鏡開きが行われ、㈱えひめ飲料の道上久司常務のほか、松山市と松山城総合事務所、(公財)松山観光コンベンション協会の関係者が、ジュースの入った樽を打ち割りました。



ポンジュースを一般客に振る舞う関係者

🍓 なんて可愛い表紙でしょう。クリスマスケーキはいちごのケーキが食べたくなりましたが、ソリに乗っているいちごが一番おいしそうです。

(八幡浜市・岡 沙耶佳さん)

🍓 真っ赤でココロロしたいいちご達。可愛らしいですよ。今回の主役はブロッコリーです。どのブロッコリーがお好きですか？

🍓 「美味絶賛」を読んで。さといもパウダーを使用したドーナツにマドレーヌ、とても美味しそうです。周ちゃん広場でも、さといもを使用したどら焼き、「里芋あんあん」が販売されています。この流れに乗って、全国一のさといも産地になれるかな。

(西条市・大西 可奈子さん)

🍓 「里芋あんあん」は県内ニュースでも取り上げられていました。愛媛に里芋ブーム到来!?

🍓 特集を読んで。早速、「ひめの凧」を購入し、食べました。とても美味しかったです。そんな「ひめの凧」がどのように生まれたのかよくわかりました。来年度も開催される「世界マーマレード大会」について取り上げていただきたいです。

(八幡浜市・若松 葉子さん)

🍓 「ひめの凧」食べていただきありがとうございます。

🍓 ございます。また、八幡浜市開催の「世界マーマレード大会」、昨年は取材に行けなかったのが、今年は世界中のマーマレードを味わいにカメラ片手に行こうと思います！

🍓 16年の歳月をかけて開発された「ひめの凧」。温暖化が農業に及ぼす影響が懸念される中で、夏の暑さにも強く倒伏しにくいということで、米作農家にとっては待ちに待った品種です。全国にPRし、愛媛のブランドとして確立してほしいと思います。

(大洲市・大本 昭裕さん)

🍓 今後も、愛媛の新しいお米ブランド「ひめの凧」を積極的にPRしていきたいと思えます！

🍓 エッセーを読んで。1996年、私はその時松山商業高校の生徒でした。とても喜んでガッツポーズしました。立場が変われば、その時の感じ方もいろいろ違いますね。これからも、梅田さんのご活躍を祈っております。

(松山市・松本 里香さん)

🍓 テレビで甲子園の名場面集が紹介される時には必ずといっていいほど放映される「奇跡のバックホーム」。スポーツは勝負側、負ける側、それぞれの思いがありますよね。

🍓 今月の素材「キウイフルーツ」。キウイフルーツは大好きですが、ただ皮をむいて切って食べるだけでした。キウイフルーツと水菜の生春巻き、早速作ってみました。Goodでした！

(宇和島市・酒井 陽平さん)

🍓 キウイフルーツといえば「デザート」で食べる、というイメージが私も強く、「おかず」にもなってしまうなんて驚きですよ。

お知らせ

読者名簿更新について

J A全農えひめ情報誌「あぐり〜ど」は、愛媛県内J Aの役員（非常勤理事・監事含む）・職員、生産組織や女性組織のリーダー、県行政や関係機関、県内報道機関を対象に無料配付しています。

読者名簿の更新を随時行っています。名簿更新により、新たにお届けする方とお届けできなくなる方がいらっしゃいます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

編集後記

p6の「女性TAC・営農職員研修会」に私も参加させていただきました。まだまだJAの営農指導員は男性が大多数を占めている中、地域農業のために頑張っている女性営農指導員の皆さんにたくさん勇気をもらいました。

講師の荒木さん、西山さんは「自分の夢や目標はいろんなところで積極的に話すことが大事」と共通して仰っていました。言葉にすることで、自ずと道は開けていくんだとか。これからの自分の働き方や、仕事への取り組み方を見つめなおすとてもいい研修会でした。(有紗)

今月のクイズ

1月11日、「愛媛いよかん」をPRしようと合格祈願のお祓いを受けた伊予柑を無料配布しました。配布した東京都の神社はどこでしょうか。

「〇〇〇〇」

プレゼント

クイズに正解した方の中から抽選で、図書カード1,000円分を10名様にさしあげます。



応募方法

折り込みハガキにクイズの答えと本誌に対するご意見・感想などをお書き添えの上、ご郵送ください。

締切り

2020年3月15日（当日消印有効）

発表

「あぐり〜ど」4-5月号で発表します。

当選者発表

12月号の答えは「ひめの凧」でした。たくさんのお便りありがとうございました。

厳正な抽選の結果、次の10人の方に図書カード1,000円分をお送りします。

- 川井 智絵さん（四国中央市）
- 江口 初恵さん（四国中央市）
- 別府 仁吾さん（今治市）
- 川上 壮佑さん（東温市）
- 竹村 洋子さん（松山市）
- 福島 和子さん（松前町）
- 伊達 芳雄さん（内子町）
- 道休 千鶴さん（八幡浜市）
- 梶原 博通さん（西予市）
- 薬師神貴弘さん（宇和島市）

今月の素材

豚バラ肉

「ふれ愛・媛ポーク」



赤みと脂身の重厚な層が
コクと風味と旨味を醸す



▶(左前)豚バラとなすの洋風巻き、(右)豚バラ肉と水菜の簡単照り焼き、
(左後)沢煮椀風味噌スープ

指導/学校法人愛媛学園 (愛媛調理製菓専門学校) 実習科 主任 門田 尚人先生

沢煮椀風味噌スープ

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約101kcal

豚バラ肉 (スライス)	60 g
大根	20 g
人参	15 g
ごぼう	20 g
玉ねぎ	20 g
だし汁	800cc
麦味噌	40 g ~
青ねぎ (小口切り)	2本

〈作り方〉

- ① 豚肉は1cmの短冊切り。
- ② ④の野菜はすべて千切り。
- ③ 鍋にだし汁を入れ、①②を柔らかくなるまで煮込む。
- ④ ③に麦味噌を加え、味を調える。
- ⑤ 青ねぎを加える。

豚バラ肉と水菜の簡単照り焼き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約395kcal

豚バラ肉 (スライス)	280 g
塩・コショウ	適量
水菜	1/2束
白ねぎ	1/2本 (70g)
片栗粉	小さじ2
サラダ油	15cc
酒	100cc
大根 (おろし)	60 g
すだち	2個
しょうゆ	20cc
みりん	20cc
酒	20cc
水	30cc
砂糖	15 g

〈作り方〉

- ① 豚バラ肉に塩・コショウをする。
- ② 水菜と白ねぎを5cmの長さに切り、①の豚肉を巻きつける。
- ③ 片栗粉を②にまぶし、油を敷いたフライパンで焼き色をつけ、酒を入れ蓋をして蒸し焼きにする。
- ④ ④の照り焼きタレを合わせ、③にかける。
- ⑤ ④を弱火で煮込み、タレを煮詰める。
- ⑥ 皿に盛り、大根おろしとすだち1/2個を添える。

豚バラとなすの洋風巻き

〈材料・4人分〉 ※1人あたり約312kcal

豚バラ肉 (スライス)	200 g
塩・コショウ	適量
なす	1/2本
大葉	8枚
合わせ味噌	30 g
白ねぎ	15 g
トマト (ダイス缶)	15 g
はちみつ	5 g
オリーブ油	15 g
粉チーズ	40 g
粒マスタード	15 g

〈作り方〉

- ① 豚肉は塩・胡椒をしておく。
- ② なすは2mm厚にスライス。
- ③ ④をボウルで合わせてソースにする。
- ④ ①の上に②を置き、④を薄く塗り、大葉を置き、手前から巻く。
- ⑤ フライパンにオリーブ油を敷き熱し、④を焼く。
- ⑥ ④のソースが残っていれば皿に敷いてから、⑤を盛り、粉チーズと粒マスタードをかける。



ポン

スパークリング



甘酸っぱさがやさしい
シュワっと柑橘



果汁30%

長年柑橘のおいしさに「まじめに」向き合ってきた当社が検討に検討を重ねてきた
ポンスパークリング。
濃厚でさわやかな果汁のおいしさが
炭酸飲料でお楽しみいただけます。



株式会社 **えひめ飲料**

〒791-8603 松山市安城寺町478番地
TEL: 089-923-1500 FAX: 089-924-0304

<https://www.ehime-inryo.co.jp>
(通販専用) <https://www.pom-j.com>

組合員の皆様へ

JAでお家!

新築・リフォーム・各種お困りごとなど
お家のことなら
JAになんでもご相談ください。



お問い合わせ・お申し込みはお近くのJA支店・支所へ

JA全農えひめ 生活部 施設農住課
TEL(089)909-9466



JA/JA全農えひめ

あなたの人生で支えられた1曲を
リクエストしてください
link@joeufm.com

JA全農えひめPresents
Support
Music

JA全農えひめ協賛FMラジオコーナー
FM愛媛
毎週月曜日「Groovy Radio Caravan」内
14時10分頃～(5分間)

VOC FREE
VOC(揮発性有機化合物)成分フリーの
インキを使用しています。



「えひめの食」Instagram
Follow Me!



あぐり~どはWEBでも読めます

http://www.eh.zennoh.or.jp